

<p>第342号</p> <p>平成30年5月</p>		<p>〒110-0012 東京都台東区竜泉1-20-19</p> <p>発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺 光臨山</p> <p>電話 (03) 3875-3351 FAX (03) 3875-6796</p> <p>西徳寺婦人会</p>
-----------------------------	---	---

## 「婦人会だより」リニューアル

この度、西徳寺伝道誌「えこお」がリニューアルされることを機に、「婦人会だより」も少し形を変える運びとなりました。約35年続いている当会も、時代や社会の変化に伴いまして、さまざまに移り変わって参りました。平成27年10月号より「えこお」誌の一面を飾ってきた婦人会だよりですが、会員の方々から「もっと婦人会らしさを」という熱のある意見が出てきたことから、婦人会ならではのカラーを出していきたいと思い、「えこお」誌からの独立をいたしました。

何分手探り状態で、まだまだ未完成ではありますが、これから会員の皆様と共に成長して参りたいと思いますので、忌憚のないご意見、ご感想をいただければと思います。先立って学んでこられた方々から脈々と受け継がれてきたお念仏のみ教えを軸として、日々の生活の中に溢れているさまざまな問題や悩みを縁として、私自身の生き方を仏法に聞いて参りたいと思います。たくさんの方のご参詣をお待ちしております。共に聴聞して参りましょう。

婦人会役員一同

### ●会員さんの声

Q、お焼香をするとき、額にお香を押しいただいてから香炉にくべますが、何か意味があるのでしょうか。

A、宗派によって解釈の仕方は違いますが、当派では基本的に額にいただくに2回香をくべます。元々はインドで臭い消しのために用いられていたことが、現在では心身共に穢れを落とし、身を清める行為として、一般的に解釈されているようです。真宗において身を清めるとはどういうことを表しているのでしょうか。いずれにせよ、焼香など仏事は人の真似ではなく、我が事として勤めることが大事であると教えられます。

### ●次回聞法会

日時：5月16日（水） 午後1時30分～

場所：西徳寺 星月の間

法話：「暮らしの中の仏教」

最高顧問 大谷 義博

蓮井 邦宗

## ●茶菓接待

婦人会では春・秋彼岸会ならびに盂蘭盆会（7月）に役員を中心とし、参詣者の方々へ茶菓接待のお手伝いをしております。来寺される方がホッと一息できる場所を提供できるように、毎回丁寧な対応と笑顔を心がけています。お彼岸、お盆にお参りされる際は、是非休憩所にお立ち寄りください。たくさんのご参詣を心よりお待ちしております。



## ●ひとこと

4月12日、我が家に第一子となる長男が誕生しました。出産時、側で見ていることしかできなかった私ですが、妻の頑張りや助産師さんの働き、そして新しい命の誕生に感動で涙が止まりませんでした。これからは子と共に、父として日々成長していけるように頑張っていきたいと思います。

（蓮井 邦宗）

## ●婦人会員募集

当婦人会では新しく会員になってくださる方を募集しております。ご婦人の方で興味のある方ならどなたでも結構です。是非一度ご参加ください。

## ●年会費納入のお願い

当婦人会は会員の皆様の会費によって運営されております。年会費（3,000円）の納入を、何卒よろしくお願い致します。